



児童生徒が主役 みんなで楽しむ運動会

5月から6月にかけて稲城市立小学校2校・中学校6校で春季の運動会・体育大会が行われました。稲城第三小学校は、校舎建替え工事中により校庭が使用できないため、ジャイアンツスタジアムで開催しました。児童が主体となり、1年かけてプログラムを企画し、当日は活気に満ちた運動会となりました。平尾小学校は、熱中症対策として休憩室やミストの設置、こまめな水分補給の呼びかけなど、暑さへの配慮が徹底されていました。

中学校各校では、生徒全員が選手としても、また運営面のスタッフとしても大活躍し、PTAや地域の皆様の協力のもと、一丸となって運動会に取り組む姿が見られました。

10月には、小学校10校で秋季の運動会が開催されます。次の季節には、また児童たちが、全力を尽くす姿を見せてくれるでしょう。



稲城第三小学校運動会の様子

▷問合せ 教育企画課教育企画係

今年も開催しました!



第2回「いなぎALTイングリッシュフェスタ」

7月18日(土)、稲城第四小学校体育館にて「第2回いなぎALTイングリッシュフェスタ」を開催しました。昨年度に続き2回目の開催です。

当日は、小さなお子さんから大人の方まで、約250人にご参加いただきました。昨年度のブース形式から今年は会場全体でひとつのアクティビティを行う形式となり、4つのアクティビティとダンスをプログラムに沿って実施しました。

なかでも圧巻だったのは、ダンスの場面でした。ALTの皆さんとともに、高橋市長・杉本教育長も子どもたちと一緒に体を動かし、会場全体がひとつになる瞬間が生まれました。「みんなで楽しむ」という空気が英語への一步をそっと後押しし、子どもたちの笑顔が会場いっぱいに広がりました。

アンケートでは96.3%が「とてもよかった」と回答。また、82.5%が「英語でのコミュニケーションに自信がついた」と答えており、楽しさが豊かな学びへと確かにつながっています。

次回は他校や他地区での実施も視野にいれ、市内全体にイングリッシュフェスタを拡大していきます。

実施にあたり、市内英語ボランティアの皆様、学校支援コンシェルジュの皆様、そして株式会社アチーブゴールにご協力いただきました。深くお礼を申し上げます。



▷問合せ 教育企画課教育企画係

教育長コラム

No.14



一人ひとりの歩みに寄り添う

7月末、私は職員と一緒に、いくつかの市内施設を回りました。学校は夏休み中です。

まず、稲城第五中学校へ。「チャレンジクラス」の教室を訪ねました。夏休み初めに着手した床の張替工事完了を確認し、そこで先生方から、1学期末には工事開始に備え在籍生徒の皆さんが協力し合って机や椅子を運び出してくれたとお話を伺いました。

「チャレンジクラス」は、教室に入りにくくなっていたり学校に通いにくくなったりしている稲城市立学校の中学生を対象とした東京都版「学びの多様化学校」として、今年度、稲城市教育委員会が稲城第五中学校施設内に開設しました。生活時程や学習方法について柔軟な設定をし、生徒が無理なく通学できるように工夫がなされています。

「チャレンジクラス1期生」となった生徒の皆さんは、1学期の間、地域行事に参加する五中学生のためにTシャツ製作に取り組み共同作業の大変さを経験するとともに地域との繋がりや地域貢献の喜びを実感したり、自作の絵画を見せ合って互いに賞賛し合ったり、五中構内花壇の手入れ作業を担当するようになったりと、仲間と関わり合いながら体験の幅を広げてきました。また、「キャリア教育」の一環と

して市立図書館職員から生き方に関する書籍を紹介してもらったり、校外の大人との交流活動の機会も得てきました。さらに、チャレンジクラス担任の先生方も、学校施設内に設置されているという利点を生かし、通常の学級での授業の様子を日常的にリサーチし指導法研究に繋げ、より質の高い学習活動を提供できるように努めています。このよう

な好スタートを切ったチャレンジクラスの、明るくリニューアルされた教室を見渡しながら、私は、生徒の皆さんには2学期もこのクラスでの生活を大いに楽しんでいただきたいの思いを深くしました。

次に、4つの市立図書館分館を巡回しました。市立図書館分館は、いずれも7月15日に中央図書館とともにリニューアルオープンし、学習・閲覧スペース

を拡充させたところです。学校の夏休み期間となり、中央図書館も4つの分館も共に、子どもたちや学生の来館が増えたとき、私は当日、その様子を確認したたく、4分館を巡回したというわけです。それぞれの分館では、水筒持参の小学生、友達同士一緒に勉強する中学生の姿などがあり、さらに、小学生とお母様が、本市スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)と児童書コーナーにて待ち合わせし、お話されている場面にも出会いました。このように、身近な心地よい居場所として市の施設を活用いただいていることを心から嬉しく思いました。

当日は最後に、稲城市教育センターへと向かいました。まず3階の教育支援室「梨の実ルーム」の先生方にお会いし、1学期の学習の様子について聞きました。7月にはA・L・T(外国語

指導助手・本市では市の会計年度任用職員として採用しています)が来室し、子どもたちと「百人一首」等を使いながら英語によるコミュニケーション活動を楽しんだと伺い、通室する子どもたちに多様な体験機会を提供するよう取り組んでいることを確認しました。

そして、4階の教育相談室・特別支援教育相談室へ。教育相談については今年度から一部を民間機関委託とし、新たな相談スキルや手法を備えた民間機関相談員と市採用相談員が机を並べ、技術や情報を共有し切磋琢磨しながらより質の高い相談対応を図っているところです。その結果、1学期の間には、オンライン等の手法を駆使しながら、より相談しやすいシステム開発も実現させてきました。

さて本市では、子どもたちの、学校生活や日常生活、登校しにくい・教室に入りにくいといった悩みに対応する場として、教育相談室、教育支援室「梨の実ルーム」、校内支援センター(別室支援)、チャレンジクラスといった場の設置を進めるとともに、スクールカウンセラー、SSW、不登校対応巡回教員配置といった人材配置にも取り組んできました。子どもたちの実態に沿うことができるよう、常に研究と検討、工夫を重ね、また

国方針も踏まえながら、対応してきています。そして、そのように努めれば努めるほど、それぞれのニーズや特性がある個々の子どもたちを、既に設定された各機関や支援の場の中にカテゴライズできるものではないというこの認識を深めております。だからこそ、多様なニーズの一つ一つに対応できるよう、

窓口としての教育相談の充実を図るとともに、既設の場において、外部支援を得たり学習プログラムに工夫を凝らしたり、また、図書館等の場を柔軟に活用するなど、ソフト面での充実を図ることこそが大切であり有効であると考えます。そして、学校と教育委員会事務局職員は、日々、保護者の方々をはじめとして専門機関や様々な連携先と相談し、自らも研鑽を続けてきております。

教育改革の中心の柱として「誰一人取り残さない」というコンセプトが大きく発信され多くの人がその大切さを共有しているところです。このことの実現には、全ての子どもたちが一人の成長しつつある存在であることに視点を置き、一人ひとりの状態に沿い、多様なリソースを活用しながらの支援・サポートこそが大切であるとの理念をもつことが重要と考えます。

この2学期も、各学校で、学級で、それぞれの教室やいろいろな居場所、稲城の子どもたちがそれぞれのペースで一歩一歩成長していかれまことを願っております。

稲城市教育委員会教育長

杉本真紀子



第二図書館児童コーナー

稲城第一小学校が進める

インクルーシブ教育

稲城第一小学校では、特色ある教育活動の一環として、インクルーシブ教育を進めています。全校児童がインクルーシブ理解集会で、「自分を知り、前向きに考えること」について学んでいます。また、1、3、5年生は、相互理解授業を通して、一人ひとりの違いを認め合うことについて考えていきます。

吉方公園のインクルーシブ公園へのリニューアルの際は、インクルーシブについて学んだ6年生が「こんな公園にしたい」と稲城市緑と環境課職員と一緒に考えました。4月21日(火)の開園式に6年生全員が参加し、地域と共に学びを深めました。

誰もが安心して学び、自分らしく成長できるように、今後も全校で取り組んでいきます。



インクルーシブ理解集会



相互理解授業



吉方公園インクルーシブ遊具広場開園式

野沢温泉村宿泊体験学習

市立小学校全12校の6年生が、7月20日(月)から8月1日(土)にかけて、友好都市・長野県野沢温泉村に2泊3日の宿泊体験学習に行きました。今年も豊かな自然や伝統文化の学習、民宿の方々とのふれあいを通して、たくさんの貴重な体験ができました。

長坂ゴンドラで山頂まで上り、野沢温泉村や北信地方の山々を一望しました。トレッキングでは、宿の方々から草花やブナ林について解説していただき、植樹体験や、これまで先輩方が植えた木の剪定も行いました。

また、つる細工体験や宿の方々から地元のお話を伺う等、野沢温泉村の伝統を学ぶことができました。

民宿のお父さん、お母さんが子どもたちの様子を見ながらプログラムを組み立て、まるで我が子を迎えるかのように温かく見守ってくださいました。

最終日は、宿の方々に心からの感謝の思いをお伝えし、今後、中学校1年生となり野沢温泉村を再訪することを楽しみに、お別れをしました。



▷問合せ 教育企画課教育企画係

国連を支える世界こども未来会議
in INAGIを開催しました

8月25日(火)に、地域振興プラザ及び稲城市議会議場において「国連を支える世界こども未来会議in INAGI」を開催しました。

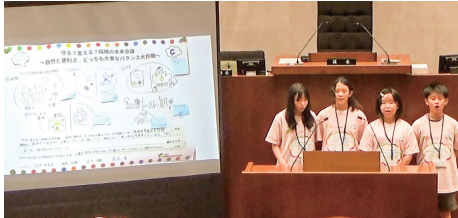
事前学習シートによる学習を実施し、市立小学校12校から6年生代表24名が選ばれ参加しました。「守る? 変える? 稲城の未来会議～自然と便利さ、どちらも大事なバランス大作戦～」をテーマに、6グループに分かれてディスカッションを行い、「豊かな学び」と「地域とともに」の精神を胸に、子どもたちが一人ひとりの言葉で稲城市の未来についてアイデアを出し合い発表を行いました。

また、令和7年度の本会議で最優秀賞を受賞したメンバーから、キッズアンバサダーに選出され、今年5月にニューヨークの国連本部を訪問した櫻井さんの報告がありました。

開催の詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト



▷問合せ 教育企画課教育企画係

城山小学校

稲城サイエンス特例校



令和8年度より、城山小学校を「稲城サイエンス特例校」に指定し、理科教育を充実させるために「サイエンス教室」を計画・実施しています。

これまで、水生昆虫の採集と観察、空気を使った実験や遊び、ヒューマノイドAIロボットの遠隔操作やプログラミング等、体験型の授業を展開しています。

児童が主体的に問いを見つけ、科学技術への好奇心や探究心を育む場として、地域や企業とも連携しながら教育効果を高めています。



「ヒューマノイドAIロボットがやってきた！
～城山小フィジカルAI体験DAY～」



水中昆虫採集の様子

▷問合せ 教育企画課教育企画係

稲城第五中学校

「チャレンジクラス(E組)」の取組

稲城第五中学校では、学校に行きにくくなっている生徒への支援としてチャレンジクラス(E組)を設置しています。学習支援アプリの活用やスクールカウンセラー等との連携により、生徒一人ひとりに応じた指導を行うとともに、花壇づくりやTシャツ製作、寺子屋リーフレット制作等、学校・地域・世界とのつながりを実感できる特色ある活動に取り組んでいます。

2学期以降はロボットアーム体験会や校外学習なども予定しています。



Tシャツ製作の様子

▷問合せ 教育企画課教育企画係

地域と共にある学校づくり ～学校・家庭・地域の連携を深める～

稲城市では、子どもたちの健やかな成長とより良い学校運営を目指し、地域と学校が協働する取り組みを進めています。
最近開催された地域と学校の連携に関する2つの会議についてご報告します。

令和8年度 第1回
地域教育懇談会・学校支援コンシェルジュ合同連絡会
4月30日(木)

地域教育懇談会運営委員や学校支援コンシェルジュが集うこの会議では、各ブロックでの学習支援や防災活動等の活動報告が行われました。また子どもを取り巻く環境が複雑化する中、地域社会全体の教育力を向上させ、学校を支援する連携体制の重要性を再確認しました。

地域教育懇談会とは…

稲城の子供の心身共に健全な成長を期するという理念に基づき、より一層の地域社会に根ざした教育力の充実を図るための、家庭、園、学校、地域四者の連携協力機関です。

学校支援コンシェルジュとは…

「地域学校協働活動推進員」として、地域と学校を繋ぐコーディネーター役を担い、教育支援活動の総合的な調整を行っています。

▷問合せ 教育企画課教育企画係

令和8年度 第1回
学校運営協議会委員 会長研修・連絡会
7月15日(水)

市立小中学校の学校運営協議会会長が集まるこの会議では、「学校・保護者・地域が“自分ごと”として協働するには一次の担い手とともに増やす」をテーマにグループ協議を実施しました。学校の働き方改革の推進や、地域・保護者が主体的に学校運営へ参画するための工夫について、活発な意見交換が行われました。

学校運営協議会とは…

保護者・地域住民・学校が協力し、持続可能な学校環境や指導環境の整備に取り組むための熟議を行う場を通じて、地域全体で子どもたちの成長を支えています。



教育委員会の動き

第5回定例会 5月12日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

稲城市立小・中学校学校運営協議会委員(令和8年度)の解任及び任命について

稲城市社会教育委員(令和8年度)の解任及び任命について

稲城市立図書館協議会委員(令和8年度)の解任及び任命について

令和9年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要領について

令和9年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の調査・研究の諮問について

3. 議案(承認)

専決処分の承認を求めることについて(稲城市立学校教職員の服務について)

4. 報告事項

第6回定例会 6月10日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

令和8年度教育費補正予算の提出について

稲城市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則

稲城市教育委員会公印規則の一部を改正する規則

稲城市立図書館処務規則の一部を改正する規則

稲城市立図書館協議会運営規則の一部を改正する規則

稲城市立学校給食共同調理運営委員会委員(令和8年度)の解任及び任命について

稲城市立小学校学校運営協議会委員(令和8年度)の解任及び任命について

稲城市立稲城第三小学校校舎建替及び(仮称)稲城市第三小学校学童クラブ建設工事(電気)請負

契約の変更について

稲城市指定文化財の指定に係る諮問について

3. 報告事項

第7回定例会 7月13日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

稲城市教育委員会公共的事業の運営及び名義使用に関する規則の一部を改正する規則

稲城市立中学校学校運営協議会委員(令和8年度)の任命について

第8回定例会 8月18日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)

令和8年度教育費補正予算の提出について

稲城市教育委員会委員の旧姓使用に関する規程

令和9年度使用稲城市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

3. 議案(継続審議)

令和8年度稲城市教育委員会施策(令和7年度事務事業)の点検・評価票について

4. 報告事項

▽問合せ 教育総務課教育総務係

梨の実ルーム分室を開室しました

このたび、城山小学校の空き教室を利用して、教育支援室「梨の実ルーム分室」の運営を開始しました。

本室は、稲城市立小中学校に在籍し、登校が難しい状況にある児童生徒が安心して過ごせる「居場所」「学びの場」を提供しています。

一日の流れ

朝の会→個人・少人数学習→昼食(お弁当持参)→ソーシャルタイム→帰りの会
市内の学校に勤務経験のある指導員が、学習や生活をサポートします。ソーシャルタイムでは、子どもたちと指導員と一緒にゲームなどを通じてコミュニケーションを楽しみます。

開室日時

月曜日から金曜日
午前9時から午後3時

ご相談や見学・体験申込方法

梨の実ルーム分室
(080-7680-5182)へご連絡ください。
電話受付時間：平日午前9時から午後4時
住所：稲城市向陽台6-17城山小学校内

▽問合せ 教育企画課教育センター係



市ウェブサイト



学校給食費の全額補助を行っています

学校給食に必要な経費は、学校給食法により、「施設や設備、人件費については市負担」「食材費については保護者負担」となっています。稲城市では、保護者の経済的負担を軽減するため、稲城市と国及び東京都の補助金を活用して、令和7年1月から、保護者が負担する学校給食費の全額補助を行っています。

全額補助

小学校	低学年	月額	5,450円
	中学年		5,820円
	高学年		6,210円
中学校			6,700円

お知らせ

○連続して6日以上(土日祝日を除く)給食を利用しない場合は、事前のお申し出により学校給食を停止しますので、お早めに在籍校にご相談ください。

○食物アレルギーや乳糖不耐症等のやむを得ない事由により牛乳の提供を辞退するお子さんは、在籍校にご相談ください。

▽問合せ 学務課学務係



市ウェブサイト

令和8年10月から「小学生見守りサービス」事業開始!!

稲城市では、児童の安全かつ安心な暮らしの向上を目的に、公民連携事業の一環として、5月12日に、株式会社otta、株式会社チェンジホールディングスと協定を締結し、「小学生見守りサービス」を10月初旬から新規に導入します。

本サービスは、稲城市立小学校に在籍する全学年の希望者を対象に、児童1人につき1個の見守り端末(位置情報を発信する発信機)を無償で配布し、端末を持った児童が見守りスポット付近を通過した際の位置情報の記録を行うものです。

記録した位置情報は、万が一の際、警察が必要であると判断して照会があった場合に、保護者同意のもとで警察に開示し、捜索活動の一助として活用することができ、無償で児童に見守りの機会を提供することができます。

事業の詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト

▽問合せ 学務課学務係

FIFAワールドカップ 2026 応援給食

6月23日(火)にFIFAワールドカップ2026応援給食として、開催国であるカナダの「サーモンチャウダー」とアメリカの「チリコンカン」を提供しました。

サーモンチャウダーはカナダの名物サーモンを家庭料理であるチャウダーにしました。チリコンカンはアメリカの国民食の一つで、もともとメキシコの一部であったテキサス州南部で考案されたといわれています。給食ではひき肉や玉ねぎ、トマトなどの野菜と豆などの食材にチリパウダーを加えて煮込みました。



▽問合せ 学校給食課第一給食係